

Oct. 1935.

181

- Pyrrosia adnascens* CHING (*Cyclophorus adnascens* DESV.)  
 ヒトツバマメツバ  
*Pyrrosia hastata* CHING (*Cyclophorus hastatus* C. CHR.)  
 イハオモダカ  
*Pyrrosia polydactylis* CHING (*Cyclophorus polydactylus* C. CHR.)  
 モミヂヒトツバ  
*Pyrrosia linearifolia* CHING (*Cyclophorus linearifolius* C. CHR.)  
 ビロウドシダ  
*Pyrrosia petiolosa* CHING (*Cyclophorus petiolosus* C. CHR.)  
 コヒトツバ  
*Pyrrosia lingua* CHING (*Cyclophorus lingua* DESV.)  
 ヒトツバ  
*Pyrrosia grandissima* CHING (*Cyclophorus grandissima* HAYATA)  
 オホヒトツバ  
*Pyrrosia subfissa* CHING (*Cyclophorus subfissus* HAYATA)  
 ラシヤシダ  
*Pyrrosia transmorrisonensis* CHING (*Cyclophorus transmorrisonensis* HAYATA)  
 ニヒタカラシヤシダ

又 *Pyrrosia Sheareri* CHING が阿里山にあることになつてゐるが、もともと *P. grandissima* CHING は秦氏も注意してゐるやうに *P. Sheareri* CHING と同種であるから當然である。それから *Cyclophorus Matsudai* HAYATA には觸てゐないがこれはラシヤシダかニヒタカラシヤシダかどちらかの奇形でモミヂヒトツバとは関係がない。

因に *Cyclophorus Sasakii* HAYATA ヒトツバノキシノブは別屬 *Saxiglossum* CHING に屬するもので *S. Sasakii* (HAYATA) と學名を改める必要がある。秦氏は支那産の *S. taenoides* CHING と同種にしてゐるがこれはよろしくない。(田川基二)

緒方正資氏：日本羊齒類圖集第六輯 M. OGATA: Icones Filicum Japoniae. Vol. VI. (March 20, 1935).

本輯には第 251 圖版から第 300 圖版に至る次の 50 種が圖説してある。圖も記載文も共に正確で世界一流の羊齒類圖譜たる資格を備へてゐる。學名や異名にはものたりぬものもあるがやむをえないであらう。大きくもあり高價でもあるから縮小した普及版を發行せられるならば恩恵を受ける人はすいぶん増ることであらう。又圖の基礎となつた材料の産地を明記しておけば將來便利なことが必ずあると思ふ。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 251. スキヤクジヤク | 253. ナナバケシダ |
| 252. オホバコシダ  | 254. ウスバシダ  |

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 255. ホウライヤブクジヤク | 278. オホヘツカシダ    |
| 256. オホトキハシダ    | 279. オキノクリハラシ   |
| 257. オホバノヒノキシダ  | 280. コモチヘツカシダ   |
| 258. トキハシダ      | 281. イヌガンソク     |
| 259. ミヤマシダ      | 282. クサソテツ      |
| 260. ホソバノイハガネサウ | 283. カラクサイヌシダ   |
| 261. シノブ        | 284. ヨロヘンシラン    |
| 262. イハヤシダ      | 285. カウヤワラビ     |
| 263. ホソバシケシダダ   | 286. タカウラボシ     |
| 264. マキノシダ      | 287. アリノスノキシノブ  |
| 265. サケバマキノシ    | 288. ヒメタカノハウラボシ |
| 266. ヤブレガサウラボシ  | 289. カラクサキノデ    |
| 267. シラネワラビ     | 290. イタチシダ      |
| 268. タイフントネリコシダ | 291. マツザカシダ     |
| 269. クロミノイタチシダ  | 292. ナチシダ       |
| 270. ナガバノイタチシダ  | 293. イヌキノモトサウ   |
| 271. サカバシダモドキ   | 294. キクモバホラゴケ   |
| 272. トネリコシダ     | 295. ホソバホラゴケ    |
| 273. クマゲラシダ     | 296. ヒメホラゴケ     |
| 274. キリガタシダ     | 297. クジヤクホラゴケ   |
| 275. ツノマタコケシノブ  | 298. セリバホラゴケ    |
| 276. シモンコケシノブ   | 299. ウスイロコケシノブ  |
| 277. コケシノブ      | 300. トガクシデンダ    |

(田川基二)

**コスター氏**：——馬來群島の菊科植物 Joséphine Th. KOSTER :——The COMPOSITAE of the Malay Archipelago in Blumea Vol. I. no. 3. p. 351-536 (1935)

本論文は *Vernonieae* と *Eupatorieae* とを取り扱つたものであつて、合計 58 種中 11 種が輸入された植物である。地域を正確に云へば大スンダ列島、小スンダ列島、モルツカ群島をふくむ地域である。一体この地域は *Compositae* にとぼしい事は BENTHAM 氏 (1873) の頃から既に云われてゐるのであるが、*Vernonia* と *Eupatorium* はアジアではこの地帯に以前から可成り澤山の種類が知られてゐる。外のものは少